

支え合えば、この街はもっとよくなる

くわな社協だより

No.109 / 2024年10月号

特集

現地で感じた能登半島地震と 災害ボランティアセンター

ふれあいサロンみちくさ
毎月最終金曜日に総合福祉会館で開催されている
ふれあいサロンみちくさ。世代や障がいの有無を
問わず、皆ゆつたりとコーヒーやグリーンティを
片手にくつろぎ、談笑されています。どなたでも
お気軽にお越しください！



発行

社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会

〒511-0062 桑名市常盤町51番地（桑名市総合福祉会館内）

☎ 0594-22-8311（代表） ☎ 0594-22-8218（地域福祉課）

FAX 0594-23-5079 ✉ soumu@kuwana-shakyo.com



URL

www.kuwana-shakyo.com

ホームページに詳しい情報掲載中!!

桑名社協

検索



しゃきょうちゃん

「くわな社協だより」は、共同募金を活用して制作しています

現地で感じた能登半島地震と 災害ボランティアセンター

高橋さん／地域づくり係

伊藤さん／ケアプランセンターらいむの丘

平野さん／ケアプランセンターらいむの丘

遠藤さん／北部東地域包括支援センター

桑名市社協が運営する 災害ボランティアセンター

高橋) 災害ボランティアセンターを一言で言うと「被災された方々の生活を早期に復旧・復興するためのお手伝いをするところ」です。災害ボランティアセンターという名称から「ボランティアのための」というイメージを持たれるかもしれませんが、もちろんその意味合いもありますが、一番は被災された地域住民みなさんのためのセンターです。桑名市では、そのセンターを社会福祉協議会が運営する計画になっています。これは日頃から地域で活躍されている方々と共に活動しているという社協の強みならではです。また、今年の3月にはセンターの活性化を目指したフォーラムを開催しましたが、偶然にも開催2ヶ月前に能登半島地震が発生しました。記憶が新しいうちにと考え、8月には能登半島地震への支援活動を行った職員による報告会を開催しています。社協職員として何を求められているのか・何が大切なのかという点を意識づけるひとつのポイントになったと考えており、私たち社協が担うことになる役割の重要性を改めて感じました。

高橋さん



被災地派遣で感じたリアル

伊藤) 私は2月に輪島市へ派遣されました。災害発生からまだ1ヶ月余りということもあって現地に向かう道中も通行できる道が限られており、迂回しながら向かうような状態でした。まちの様子は倒壊した家屋などが地震発生から手つかずのままになっていて、道が

地震発生後の輪島市内の様子（3月撮影）



塞がっていたり断水も続いたりするような状態でした。派遣内容としては、災害ボランティアセンターの運営に加えて、輪島市社協の業務応援も行いました。職員のみなさんも被災されており、出勤ができないため仕事が続けられず、やむを得ない形で退職さ



伊藤さん

れた方もいて社協本体や関連施設の管理運営業務が回っていかないという状況だったためです。職員もなんとかギリギリ仕事を続けている様子で、気持ちの整理も追いつかず先のことまでは考えられない状況だったと思います。心身共に疲労困憊なのが感じ取れました。そこを私たちが可能な限りのフォローができたという強い思いで様々な業務に取り組んでいました。派遣先の施設が自主避難所になっていたこともあり、支援物資の配給や給水のお手伝いなどもしました。

平野) 私は3月に派遣され、災害ボランティアセンターの運営と住民からの相談業務を担当しました。住民からの相談で被災した自宅の現地調査に行き、その内容をもとにボランティアに依頼をするという流れです。私が現地入りした時には主要道路の補修がある程度進んでおり、人や物資の移動も震災当初に比べるとスムーズに行うことができました。ただし、危険な箇所は多々ありましたし、車でも慎重に通らないと危ないところもいくつかあり、被害の大きさを感じるが多かったです。

現地での活動の中で住民のみなさんから笑顔で「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただくことができました。私たちが支援させていただいているのに、逆に住民のみなさんから勇気やパワーをいただき、輪島のみなさんのあたたかさを感じました。

その一方で、輪島の朝市があった場所を訪れた際、目の当たりにした光景や雰囲気、これまでに経験したことのない独特の匂いなども感じました。見た・聞いただけでは感じるものの出来ないリアルを体感したことで、他人事ではなく我が事として自身の防災に対する意識がより具体的な形で高まりました。



平野さん

遠藤) 私は5月に派遣され、輪島市中心部から車で40分ほど離れた門前町に設置された災害ボランティアセンターのサテライトを担当しました。地震から4か月が経過していましたが、倒壊した家屋がそのままであったり瓦礫が隅に寄せたままであったりと、思うように復興が進んでいない様子でした。困りごとの相談のため地域巡回を行いました。仮設住宅で生活をして日中だけ自宅の片付けのために戻ってくる方や、窓ガラスが割れて夜風や虫が入ってくるような状態の家に住み続けている方もいました。自宅が被災して住めなくなり、住民がほとんどいなくなってしまった地区もありました。住民からは「先が全く見えずにどうしたらいいかわからない」という声が多く聞かれ、元の生活を取り戻すには相当な時間がかかるのではと思います。

遠藤さん



地区によっては隣近所の人はどこにいるのか、生きているのかも分からない状況であり今回の地震は建築物の被害だけでなく地域のつながりにも影響を与えているのを実感しました。

平常時に何ができるのか

伊藤) 私が派遣された頃は災害ボランティアセンターが立ち上がって間もない頃で、災害支援用のパソコンソフトを使って被災者の様々なニーズをリスト化していき、それをボランティアにつないでいく作業を始めたばかりの段階でした。派遣されたメンバーと支援団体とオンラインでやり取りしながら、どういうフォームにすると分かりやすいか・使いやすいか等を工夫・検討しながら進めていました。事前にパソコンソフトなどで情報収集やリスト化できればスムーズな支援が

可能となります。このように便利なツールを導入することでボランティアがより活動しやすくなるような「受け入れ側の体制づくり」も平常時から考えていく必要があると思います。

平野) 輪島市内での支援活動の際、遠方から来たボランティアと地元のボランティアと一緒に活動する機会が多くありました。遠方から来た人には地域の地名や慣習など分からない部分が多く、活動場所への道案内や地域の自治会長への仲介など、土地勘がある地元の方だから分かる情報やネットワークがあったからこそスムーズな支援につながりました。普段から地域住民とのつながりを大切にしておくことが災害時の支援活動にも活かされると身をもって感じました。

遠藤) 今回の派遣を通じて、地域で暮らす私たち自身が当事者意識を持つということが最も重要だと感じました。私自身、現地に赴くまでどこか遠い場所での出来事と感じていました。ですが、まちの様子を見て、現地で活動し、住民のみなさんと言葉を交わすことで大きく意識が変わりました。桑名市が同様の災害に見舞われた際「私たちはどう行動するか？」ということを考え続けることが、本当に災害が起きた時にいち早く次の行動に移るための大きな一歩になると思います。

高橋) 桑名市においても効率的なセンター運営を考える中で、デジタルを活用してボランティアや地域の情報をデータベース化して備えておくことを検討しています。また、発災時に備えた訓練も積んでいかなければなりません。災害が発生した際、被災するのは私たちも含め、まち全体です。そうなった時、社協・センターだけで出来ることには限りがあります。平時からの備えを整えるとともに、地域で活躍する個人・団体・企業などのみなさんとのつながりを強化して「オール桑名」で力を合わせて復旧・復興を目指す協働型の災害ボランティアセンターを目指します。

そのためにセンターの存在を知ってもらうことも大切なので、「見える化」にも注力していきます。



PICKUP! 支え合えば、この街はもっとよくなる

福祉を耕す人たち 福祉の現場を「耕す」ことでこのまちがもっとよくなる。

地域福祉課 総合相談係

石原さん

2016年入職。日々心掛けていることは「思い立ったが吉日」

■職場の特徴は何ですか？

市役所の生活支援室と共に、経済的に困窮している方々に寄り添いながら、自立に向けた相談および業務を担っています。実際に相談に来られる方には「周りに相談できる人がいない・助けてくれる人がいない」など年齢問わず周囲と孤立してしまっている方々も多く特に初回の相談時にはお話を丁寧に傾聴するよう心掛けています。

また、すぐに就職活動に向かえない人や就労や社会参加から長期間離れていた人などの状況に合わせ、生活や社会参加・就労に向けた準備のお手伝いも行なっています。総合福祉会館で開催されている「ふれあいサロンみちくさ」内での喫茶店もその活動の一つです。回を重ねる毎に参加者の表情にも変化が出てきたり、明るく前向きな言葉が頂けると嬉しくなります。

■働く上で大事にしていることは何ですか？

「人と人のつながり」です。相談者の方にどのようなつながりがあるのか・どんな地域や関係機関が関わ



てくれるといい方向

に向かっていけるのかなど、相談者がどのようにつながると良いのかを日々考えていますし、つながった関係が途絶えないよう細くても長く続く関係性を目指しています。地域でみんなが暮らしていけるためのパイプ役になればと日々業務に取り組んでいます。また、市役所内の他部署と連携することもあり、職員同士の「顔の見える関係性」も大切にしています。

■他に気をつけていることは何ですか？

仕事でもプライベートでも、やらずに後悔するよりもやって反省しようと思っています。分かっているのに知らんふりしたり、失敗を恐れてやらなかったり、後々になって後悔するよりもやってみて反省した方が自分の成長にも繋がるとしています。

また、プライベートにおいても「ライフワークバランス」を保つように、『よく食べて・よく寝て・よく遊んで』を心掛けて自分らしさを保っています。

桑名文化専門学校 ファッションショー

留学生と日本人学生が作った作品です
場 所：柿安シティホール(桑名市民会館)
日 時：12月14日 土曜日
13:30 開場 / 14:00 開演
入場料：無料



お問い合わせ：桑名文化専門学校 0594-22-4401



安全・安心・快適・健康な地域型グリーン住宅
「美し国の家」に所属しています!!

住まいのお悩み、
何でもご相談ください。

地元で育ててもらってます

伊 伊藤建築

0594-23-3177

施工事例はWEBをチェック!

<http://www.hinoki-home.com>

既存住宅状況調査技術者 第02172400032号

一般建設業 三重県知事許可(総29) 第18167号

桑名市江堤5丁目459-2(桑名ハウジングセンター東)

三重県唯一の【こんまり®流片づけコンサルタント】
インストラクター認定コーチ

片づけなきゃ…と
モヤモヤしている

片づけても
すぐ散らかる…

☎090-2777-2845

担当：大川

ホームページからは24時間お問合せOK ▼



そのお片づけ、プロが伴走いたします。

お片づけ 1時間 5,500円～



大川運輸倉庫株式会社
こんまりメソッドジャパン三重
三重郡川越町大字亀崎新田77番地の31



赤い羽根共同募金にご協力ください じぶんの町を良くするしくみ

桑名市で集められた共同募金の約80%が桑名市内の地域福祉活動に活用されます。
(残りの20%は三重県全体の福祉活動や大規模災害時の支援に活用されます)
地域で集めて、地域で使い、じぶんの町を良くする共同募金運動に、温かいご協力と積極的なご参画をお願いします。なお、桑名市での主な使いみちは、社協だより
前月号(2024年6月号)で詳しく紹介しています。 桑名市共同募金委員会 会長 梶 充夫



様々な募金方法があります!

主な募金方法は下記の通りです

戸別募金▶ 自治会にご協力をいただき、各家庭に募金を呼びかけます

法人募金▶ 市内の企業に募金を呼びかけます

学校募金▶ 市内の小学校・中学校・高等学校に呼びかけます

職域募金▶ 企業・団体・官公庁などの職域で社員に呼びかけます

街頭募金▶ 街角や人が多く集う(または通行する)場所で呼びかけます

詳細はこちら▶

POINT!

共同募金の寄付には税制上の優遇措置があります!



お問合せ▶ 桑名市共同募金委員会 桑名市常盤町51番地 桑名市総合福祉会館内 TEL22-8311

桑名三重信用金庫 × フコクしんらい生命保険株式会社 「SDGsにかかると共同寄付」寄付金贈呈式を開催しました!

7月10日(水)、桑名三重信用金庫様とフコクしんらい生命保険株式会社様から本会へ共同寄付金として11万2千円を贈呈いただきました。

桑名三重信用金庫様が公共性・公益性の高い組織・団体から寄付先を選定し、フコクしんらい生命保険株式会社様の対象商品販売数に連動した寄付額を両社が同額ずつ寄付するもので、持続可能な地域社会実現への貢献を目的としています。この度は「すべての人に健康と福祉を」と「パートナーシップで目標を達成しよう」をテーマに桑名市社会福祉協議会を選定していただきました。

贈呈式では、川瀬会長より「地域の皆様にとにかく大切にに使わせていただきたい」とお礼の言葉が述べられました。



左 | 桑名三重信用金庫 平塚理事長
右 | フコクしんらい生命保険(株) 辺見取締役執行役員
中 | 桑名市社会福祉協議会 川瀬会長

お知らせ

ボランティア養成講座

▶外出支援ボランティア養成講座 日時：11月13日(水) 10:00～12:00

講師：外出支援ボランティア「しらすぎの会」

会の活動内容や実際の支援方法が学べます。

▶炊き出しボランティア講座 日時：11月26日(火) 9:00～13:00

講師：日本赤十字社 三重県支部 桑名市地域奉仕団

テント設営から調理・試食・後片付けまでを体験します。



詳細はこちら▶



ツボ押し講座 ツボを押して、体調を整えましょう！

日時：11月14日(木) 10:00～11:00

場所：北部老人福祉センター

参加費：無料

講師：岡田治療院 院長 岡田 賢 氏

参加申込：北部老人福祉センター TEL：29-1438



詳細はこちら▶



ぽかぽか特別講座「ゼンタングル」

～日常を離れてリフレッシュできる
簡単アートに挑戦してみよう！～

「描くヨガ」と呼ばれるお洒落なアートで、初心者の方でもあっという間に
素敵な作品が完成します。癒しと作品が完成する喜びを是非ご体感ください。

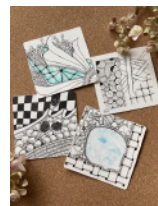
日時：10月20日(日)、12月1日(日) 10:00～11:30 受講料：500円

講師：Zentangle®公認講師 野入 郁子 氏

問合せ：陽だまりの丘複合施設「ぽかぽか」 TEL：87-7576 LINE：@406fmlut

※10月20日分は10月10日(木)までにお問合せください

詳細はこちら▼



冬休み期間中に学習部屋として開放します

桑名市社会福祉協議会では、国が取り組む「こどもまんなか社会」の実現に向け、冬休み
期間中(12/24～1/7)、らいむの丘/ヴィレッジセンター2階の会議室を「利用予約がない
日」限定で無料開放します。

詳細はこちら▶



生活支援員を募集しています！

判断能力に不安のある方が地域で安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用や日常
的な金銭管理などをお手伝いしていただける生活支援員さんを募集しています。

無資格・未経験者の方も大歓迎です！

詳細はこちら▶



第20回桑名市社会福祉大会

日時：10月25日(金) 13:30～16:00 (13:00開場)

場所：桑名市総合福祉会館 参加費：無料

内容：第1部 表彰式典

第2部 記念講演(講師|中澤まゆみ氏/ノンフィクションライター)

認知症時代を生きる～おひとりさまの老後に備える知恵と工夫～

詳細はこちら▶

